

(4) 岡山商科大学

① 開講期間・試験期間・授業時間について

開講期間	前期	2020年5月11日	～	調整中
	後期	調整中		調整中
試験期間	前期	調整中		調整中
	後期	2021年1月21日	～	2021年1月27日
授業時間	1限	9:00	～	10:30
	2限	10:40	～	12:10
	3限	13:00	～	14:30
	4限	14:40	～	16:10
	5限	16:20	～	17:50

② アクセス(案内図)



【交通アクセス】

◎JR岡山駅よりバス利用 所要時間 15分、バス便多数あり

対象路線: 国立病院線, 免許センター線, 辛香線, 半田山ハイツ・津高台団地線

◎山陽自動車道 岡山I.C.より車で5分

校舎鳥瞰図



図書館 10



ラウンジ 15



中庭 21



学生会館 12



本館 9



井尻記念館 22



1号館 1

- ① 1号館 ② 2号館 ③ 3号館 ④ 50周年記念スクエア
- ⑤ 5号館 ⑥ 6号館 ⑦ 7号館 ⑧ 8号館
- ⑨ 本館 ⑩ 図書館・産学官連携センター・孔子学院
- ⑪ 体育館 ⑫ 学生会館 ⑬ 第2学生会館
- ⑭ 第3学生会館 ⑮ ラウンジ ⑯ グラウンド
- ⑰ 野球部室内練習場 ⑱ サッカー・ラグビー場 ⑲ 卓球・剣道場
- ⑳ 弓道場 ㉑ 中庭 ㉒ 井尻記念館 ㉓ 第4学生会館
- ㉔ 学生集会所 ㉕ 第5学生会館 ㉖ 第6学生会館

※この他に第7～第9学生会館、錬成館(柔道場)があります。

③ 担当窓口

教務課	
所在地:	岡山市北区津島京町2-10-1 1号館1階
電話:	086-256-6653

④ 大学コンソーシアム岡山単位互換履修生への連絡事項

・履修申込期限

前期受付:2020年3月4日(水)~4月7日(火)
後期受付:2020年7月1日(水)~9月23日(水)
ただし、所属大学によって提出期間が別に定められている場合は、その指示に従ってください。

・履修手続

対面授業科目を履修する方

1. 以下の印刷物を配付します。対面授業科目の履修者は、必ず受け取りに来てください。また、その際、講義室の場所をお知らせしますので、初回授業までに時間の余裕を持って教務課に来てください。

- ① 学生証(単位互換履修生証)
- ② 学内講義案内システムパスワード
- ③ 学生手帳

2. 自動車通学を希望する場合は、許可が必要ですので申し出てください。
(駐車料金有料)

双方向ライブ型遠隔科目を履修する方

希望者には、対面授業科目履修生と同じ配付物をお渡ししますので、申し出てください。

・施設利用

岡山商科大学在大学生と同じ扱いとします。
図書館・学食等が利用可能です。図書館の利用方法は、図書館カウンターで、単位互換履修生証を提示してお尋ねください。

⑤ 各科目のシラバス

各大学ホームページ シラバス掲載URL

<https://syllabus.osu.ac.jp/perl/web/syllabus.pl>

・ 双方向ライブ型遠隔科目

ライブ配信			04101	
岡山経営者論 I【旧:経営学特殊講義 I】			担当教員氏名:陳 惠貞	
Management in Okayama 1				
年次 1~4	2単位	前期	1コマ	
<p>【授業の目的】 経営分野で活躍されている経営者の講義を受講することにより、経営理論、経営手法について、アクティブラーニングを含めて習得し、概要が説明できるようにすることを到達目標とする。</p> <p>経営理論と経営手法の習得</p> <p>(1) 企業経営の方針、戦略、戦術について、概要が説明できるようにする。 (2) 顧客指向の経営について、概要が説明できるようにする。 (3) 地域社会への貢献について、概要が説明できるようにする。 (4) 問題に対して、グループで提案し、まとめをして発表できるようにする。</p>				
<p>【授業内容】 (一社)岡山経済同友会のボランティアプロフェッサー制度により、同友会の会員企業の方を中心として、講義を担当するオムニバス方式の講義である。本年度で25年目を迎える経営者や企業・団体の一線で活躍する方の話を直接聴くことができる講義である。</p> <p>授業の位置付け: CP1 専門知識, CP3 思考力, CP4 判断力, CP5 会話/文章力, CP7 協調性</p> <p>授業形態: アクティブラーニング</p> <p>授業方法: 能動型</p> <p>4月13日(月) 岡山商科大学 大崎紘一 4月20日(月) 岡山商科大学 陳 惠貞 4月27日(月)、5月11日(月) 日本オリーブ(株) 代表取締役会長 服部恭一郎 様 5月18日(月)、5月25日(月) (株)フジワラテクノアート 代表取締役社長 藤原恵子 様 6月1日(月)、6月8日(月) 菅公学生服(株) 代表取締役社長 尾崎 茂 様 6月15日(月)、6月22日(月) 鷹取醤油(株) 代表取締役社長 鷹取宏尚 様 6月29日(月)、7月6日(月) 講師調整中 7月13日(月)、7月20日(月) 講師調整中 7月27日(月) 岡山商科大学 大崎紘一</p> <p>* 講義資料は、講義の最初に配布しますが、資料のない場合もあります。 受講者数は、最大 150 名です。 また、授業態度に問題がある場合、次回以降の出席を認めないこともあります。</p> <p>講義を受講するに際して、予習 2 時間・復習 2 時間を取ること 予習内容: 上記のスケジュールに従って、企業のホームページ検索や関連書籍を読むこと 復習内容: 配布資料を見直し、参考書を読むことで理解を深めること</p>				

【テキスト】プリントを配布する。

【参考図書】適宜指示をする。

【成績評価の方法】講義資料に基づき、毎回の講義内容について学生がまとめを提出してもらいます。提出内容を講義担当教員がチェック・評価し、15回の提出内容の評価から、成績評価を行います。合計点100点です。毎回、講義の始めに各自のスマートフォンを用いて出席登録を行うので、スマホを持参すること。欠席に対する補習について、VODの利用を予定している。

本講座は受講できません。

ライブ配信				04102
岡山経営者論Ⅱ【旧:経営学特殊講義Ⅱ】				担当教員氏名:陳 惠貞
Management in Okayama 2				
年次 1~4	2単位	年次 1~4	2単位	年次 1~4
<p>【授業の目的】 経営分野で活躍されている経営者の講義を受講することにより、経営理論、経営手法について、アクティブラーニングを含めて習得し、概要が説明できるようにすることを到達目標とする。 経営理論と経営手法の習得 (1)企業経営の方針、戦略、戦術について、概要が説明できるようにする。 (2)顧客指向の経営について、概要が説明できるようにする。 (3)地域社会への貢献について、概要が説明できるようにする。 (4)問題に対して、グループで提案し、まとめをして発表できるようにする。</p>				
<p>【授業内容】 (一社)岡山経済同友会のボランティアプロフェッサー制度により、同友会の会員企業の方を中心として、講義を担当するオムニバス方式の講義である。本年度で25年目を迎える経営者や企業・団体の一線で活躍する方の話を直接聴くことができる講義である。</p> <p>授業の位置付け:CP1 専門知識, CP3 思考力, CP4 判断力, CP5 会話/文章力, CP7 協調性 授業形態:アクティブラーニング 授業方法:能動型</p> <p>9月23日(水) 岡山商科大学 大崎紘一 9月28日(月) 岡山商科大学 陳 惠貞 10月5日(月)、10月12日(月) 講師調整中 10月26日(月)、11月2日(月) 講師調整中 11月9日(月)、11月16日(月) 講師調整中 11月25日(水)、11月30日(月) 講師調整中 12月7日(月)、12月14日(月) 講師調整中 12月21日(月)、1月4日(月) 講師調整中 1月18日(月) 岡山商科大学 大崎紘一</p> <p>* 講義資料は、講義の最初に配布しますが、資料のない場合もあります。 受講者数は、最大150名です。 また、授業態度に問題がある場合、次回以降の出席を認めないこともあります。</p> <p>講義を受講するに際して、予習2時間・復習2時間を取ること 予習内容:上記のスケジュールに従って、企業のホームページ検索や関連書籍を読むこと復習 内容:配布資料を見直し、参考書を読むことで理解を深めること</p>				
【テキスト】 プリントを配布する				
【参考図書】適宜指示する				
<p>【成績評価の方法】講義資料に基づき、毎回の講義内容について学生がまとめを提出してもらいます。提出内容を講義担当教員がチェック・評価し、15回の提出内容の評価から、成績評価を行います。合計点100点です。毎回、講義の始めに各自のスマートフォンを用いて出席登録を行うので、スマホを持参すること。欠席に対する補習について、VODの利用を予定している。</p>				

・ 対面授業科目

対面授業				04001
授業科目名: 行政法 I			担当教員氏名: 伊藤 治彦	
Administrative Law 1				
履修年次 2~4	2単位	前期	1コマ	
<p>【授業の目的】 受講生が講義終了までに次のようなことができるようになることが到達目標である</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 行政法の基本原理を理解する。 2 国の行政組織の仕組みを理解する 3 わが国の公務員制度及び勤務関係について理解する 				
<p>行政法の基本原理</p> <p>(1) 行政の概念 予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく。 復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。</p> <p>(2) 行政法の体系 予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく。 復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。</p> <p>(3) 法律による行政の原理 予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく。 復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。</p> <p>(4) 行政法の法源 予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく。 復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。</p> <p>(5) 行政上の法律関係 予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく。 復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。</p> <p>行政組織法</p> <p>(6) 行政組織改革概説 予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく。 復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。</p> <p>(7) 行政主体・行政機関・行政庁 予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく。 復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。</p> <p>(8) 内閣、内閣官房、内閣府 予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく。 復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。</p> <p>(9) 内閣の統轄下にある行政組織 予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく。 復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。</p> <p>公務員法</p> <p>(10) 概説 予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく。 復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。</p> <p>(11) 種類 予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく。 復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。</p>				

(12) 公務員の権利とその制限

予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく。

復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。

(13) 公務員の義務

予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく。

復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。

(14) 不利益処分とその救済

予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく。

(15) まとめ

予習 今までに配布されたプリントを整理し、授業に備える。

復習 教科書と配布されたプリントで全体をまとめる。

予習復習それぞれ1時間以上行うこと

【テキスト】横山・廣瀬編：事例で考える行政法(第2版)：嵯峨野書院

【参考図書】適宜指示する

【成績評価の方法】筆記試験による。六法は毎回持ってくること。

対面授業				04002
授業科目名:行政法Ⅱ			担当教員氏名:伊藤 治彦	
Administrative Law 2				
履修年次 2~4	2単位	後期	1コマ	
<p>【授業の目的】 受講生が講義終了までに次のようなことができるようになることが到達目標である。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 行政の一連の活動の形成過程を理解する。 2 行政作用の種類及び書く行政作用の特色について理解する。 3 行政作用に関する公務員試験の基礎的な問題が解けるようになる。 				
<p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 行政作用法概説 予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく。 復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。 行政計画 2 行政計画の種類 予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく。 復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。 3 計画策定手続 予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく。 復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。 行政立法 4 法規命令 予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく。 復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。 5 訓令・通達 予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく。 復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。 行政行為 6 概念、効力 予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく。 復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。 7 行政行為の種類 予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく。 復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。 8 行政裁量 予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく。 復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。 9 行政行為の付款 予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく。 復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。 10 瑕疵ある行政行為 予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく。 復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。 11 行政行為の取消と撤回 予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく。 行政強制 12 代執行・執行罰・直接強制 予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく。 復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。 				

13 即時強制と行政調査

予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく。

復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。

行政罰

14 行政刑罰、秩序罰、その他の制裁

予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく。

復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。

15 まとめ

予習 授業で配布されたプリントを、整理しておく。

復習 教科書やプリント及びノートを見て全体を理解していく。

予習復習それぞれ1時間以上行うこと

【テキスト】横山・廣瀬編：事例で考える行政法(第2版)：嵯峨野書院

【参考図書】適宜指示する

【成績評価の方法】筆記試験による。六法は毎回持ってくること。

対面授業				04003
授業科目名: 民法概説			担当教員氏名: 倉持 弘	
Introduction to Civil Law				
履修年次 1~4	2単位	前期	1コマ	
<p>【授業の目的】 受講生が受講後に次のようなことができるようになること。 1. 契約の締結、履行の流れをおおまかに理解し、また契約が履行されなかった場合の法的処理についてもおおまかに理解できている。 2. 未成年者のような判断能力が不十分な者の契約締結についての法的規制について例をあげて説明できる。 3. 代理人による契約締結について例をあげて説明できる。 4. 不動産登記制度について例をあげて説明できる。 5. 保証、抵当権について例をあげて説明できる。 6. 過失責任の原則をはじめとする一般的不法行為の要件について例をあげて説明できる。</p>				
<p>【授業内容】 1. オリエンテーション、契約はなぜ守らなければならないか。 事前学習: 契約にはどのようなものがあるか、考える。 事後学習: 小テストの見直し。契約の拘束力について考える。 2. 民事と刑事、法規定の構造 事前学習: 法律にはどのようなものがあるか、考える。 事後学習: 小テストの見直し。民事法と刑事法の違いについて考える。 3. 事故の場合の損害賠償(不法行為) 事前学習: 損害賠償について考える。 事後学習: 小テストの見直し。不法行為の要件について考える。 4. 売買契約とはどのようなものか 事前学習: 売買とはどのようなものか考える。 事後学習: 小テストの見直し。売買について考える。 5. 財産権(売買の客体) 事前学習: 売買の対象となるものについて考える。 事後学習: 小テストの見直し。物権と債権の違いについて考える。 6. 契約の締結 事前学習: 契約締結時のトラブルについて考える。 事後学習: 小テストの見直し。意思と表示の不一致について考える。 補講: 六法の見方 法学科以外の学生はビデオを視聴してレポートを提出すること。 7. 詐欺・強迫、消費者契約の規制 事前学習: 詐欺などの契約締結時のトラブルについて考える。 事後学習: 小テストの見直し。消費者契約について考える。 8. 中間試験、民法上の人(自然人と法人) 事前学習: 会社とはどのようなものか考える。 事後学習: 中間試験の見直し。 9. 代理人による契約の締結 事前学習: 別の方が本人の代わりに契約を締結することについて考える。 事後学習: 小テストの見直し。表見代理について考える。 10. 未成年者の保護 事前学習: 未成年者の保護について考える。 事後学習: 小テストの見直し。未成年者は具体的にどう保護されているのか考える。 11. 所有権の移転、不動産登記 事前学習: 不動産とはどのようなものか考える。 事後学習: 小テストの見直し。不動産登記制度について考える。 12. 契約が履行されないとき</p>				

<p>事前学習: 契約相手が自ら契約を履行しない場合について考える。 事後学習: 小テストの見直し。契約が履行されないときに取ることができる法的手段について考える。</p> <p>13. 契約から生じる義務 慣習・任意規定による契約内容の補充 事前学習: 契約で取り決めていないことが起きた場合について考える。 事後学習: 小テストの見直し。任意規定・強行規定について考える。</p> <p>14. 金銭の貸借契約、金銭を支払う義務の履行 事前学習: 利息について考える。 事後学習: 小テストの見直し。利息に関する法規制について考える。</p> <p>15. 担保 事前学習: 担保とはどういうものか、考える。 事後学習: 小テストの見直し。担保について考える。</p> <p>16. 定期試験</p> <p>* 六法は指定のものでなくても構わないが、2017年改正民法が掲載されているものを用意すること。</p> <p>予習1時間: 各回の事前学習について、ネットなどで調べたり、自分で考えたりすること。一部、講義掲示板での課題提出を求める。 復習3時間: 講義プリントを読み直して、小テストを見直すこと。各回の事後学習について、自分で考えること。</p>
<p>【テキスト】ポケット六法 令和2年版: 有斐閣</p>
<p>【参考図書】池田真朗: 民法への招待 第5版: 税務経理協会</p>
<p>【成績評価の方法】試験は定期試験と中間試験(持ち込み不可)。 毎回、講義の最後に小テストを行う。小テストの正解は講義掲示案に掲載する。 評価手段の「その他」は、予習課題である。解答例などを講義中で提示する。 注意 セキュリティーシートを配布するので、スマートフォンなどを利用して出席登録を行うこと。 この講義では録画ビデオを講義案内システムに掲載するので、欠席者は必ずそれを視聴した上で欠席者用紙を提出すること。</p>

対面授業				04004
授業科目名:民法総則			担当教員氏名:倉持 弘	
Civil Law				
履修年次 2~4	2単位	後期	1コマ	
<p>【授業の目的】 受講生が受講後に次のようなことができるようになること。 1. 法律行為とはどのようなものか、例をあげて説明できる。 2. 行為能力の制限の制度について例をあげて説明できる。 3. 代理について例をあげて説明できる。 4. 時効制度について例をあげて説明できる。</p>				
<p>【授業内容】 この講義は5編構成の民法の第1編「総則」の部分を解説するものであるが、総則編には民法全体に共通して適用される規定が置かれているので、民法全体をある程度理解した上で履修することが望ましい。なお、総則編中の法人については『会社法概説』の講義で、取得時効については『物権総論』の講義で扱われる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション、民法総則の位置づけ 事前学習:教科書第1章を読むこと。 事後学習:小テストの見直し。パンデクテンシステムとはどういうものか。 2. 人の出生と死亡、失踪宣告 事前学習:教科書第3章第1節を読むこと。 事後学習:小テストの見直し。失踪宣告とは何か。 3. 法律行為と意思表示 事前学習:教科書第6章第1節～第3節を読むこと。 事後学習:小テストの見直し。法律行為・意思表示とは何か。 4. 意思と表示の不一致 事前学習:教科書第6章第3節～第4節を読むこと。 事後学習:小テストの見直し。意思と表示の不一致とはどういう問題か。 5. 錯誤、詐欺・脅迫 事前学習:教科書第6章第4節を読むこと。 事後学習:小テストの見直し。錯誤とは何か。 6. 未成年者 事前学習:教科書第3章第2節第3節を読むこと。 事後学習:小テストの見直し。未成年者はどのように保護されているか。 7. 成年の制限行為能力者 事前学習:教科書第3章第3節を読むこと。 事後学習:小テストの見直し。成年後見にからむ諸問題。 8. 中間試験、無効と取消し 事前学習:教科書第8章を読むこと。 事後学習:無効と取消しの異同。 9. 代理の概略 事前学習:教科書第10章第1節第2節を読むこと。 事後学習:小テストの見直し。民法の代理。 10. 代理行為 事前学習:教科書第10章第3節を読むこと。 事後学習:小テストの見直し。顕名主義。 11. 無権代理、表見代理 事前学習:教科書第10章第4節第5節を読むこと。 事後学習:小テストの見直し。表見代理制度はなぜ必要か。 12. 時効の概略 事前学習:教科書第12章第4節を読むこと。 				

事後学習:小テストの見直し。時効制度の意義。

13. 消滅時効

事前学習:教科書第12章第2節を読むこと。

事後学習:小テストの見直し。消滅時効の起算点。

14. 取得時効・消滅時効に共通する原則

事前学習:教科書第12章第3節を読むこと。

事後学習:小テストの見直し。時効の完成猶予と更新。

15. 信義誠実の原則、条件・期限、物

事前学習:教科書第2章第3節、第9章、第5章を読むこと。

事後学習:小テストの見直し。さまざまな条件。

16. 定期試験

* 六法は指定のものでなくても構わないが、2017年改正民法が掲載されているものを用意すること。

予習1時間:教科書該当ページを読み、課題(公務員試験過去問など)に答えること。

復習3時間:教科書を読み直して小テストを見直すこと。各回の事後学習について自分で考えてみること。

【テキスト】

永田・松本・松岡・横山 著 :民法入門・総則 第5版 : 有斐閣

ポケット六法 令和2年版 : 有斐閣

【参考図書】適宜指示する

【成績評価の方法】

試験は定期試験と中間試験(持ち込み不可)。中間試験については採点した答案を返却する。

毎回の講義の最後に小テストを行う。次の回に採点して返却、正解も発表する。

なお、試験・小テストは、市役所等の公務員試験の過去問から多く出題する。

評価手段の「その他」は、予習課題である。

注意

セキュリティシートを配布するので、スマートフォンなどを利用して出席登録を行うこと。

この講義では録画ビデオを講義案内システムに掲載するので、欠席者は必ずそれを視聴した上で欠席者用紙を提出すること。

対面授業				04005
授業科目名:労働経済学 I			担当教員氏名:有利 隆一	
Labor Economics 1				
履修年次 2~4	2単位	前期	1コマ	
<p>【授業の目的】</p> <p>1. 「雇用と失業」を中心に、その基本的な考え方と目下の主要な課題や問題、さらに、我々の生涯の段階に生ずる問題と制度や慣行、政策に関する理解を深める。</p> <p>2. 特に、労働需給の原理と実情及び雇用失業の現状と背景について、とりまとめ、説明できるようにする。</p> <p>【授業内容】</p> <p>1. 経済学から見た労働という活動 (事前学修:なし、事後学修:配布資料を復習)</p> <p>2. 就業構造とその変化 サービス経済化、仕事内容の変化 (事前学修:教科書及び指摘した資料 事後学修:教科書及び配布資料)</p> <p>3. 労働供給理論の基本 労働時間と賃金、最適な労働供給量 (事前学修:教科書及び指摘した資料 事後学修:教科書及び配布資料)</p> <p>4. 条件の変化と労働供給 非勤労収入が発生した場合、賃金が増えた場合 (事前学修:教科書及び指摘した資料 事後学修:教科書及び配布資料)</p> <p>5. 働くか否かの決定理論 労働供給するか、しないか 留保賃金 (事前学修:教科書及び指摘した資料 事後学修:教科書及び配布資料)</p> <p>6. 労働需要の短期モデル 賃金と限界生産力 (事前学修:教科書及び指摘した資料 事後学修:教科書及び配布資料)</p> <p>7. 労働需要の長期モデル 等量曲線、等費用曲線と最適労働需要量 (事前学修:教科書及び指摘した資料 事後学修:教科書及び配布資料)</p> <p>8. 労働市場の仕組み 労働市場の均衡メカニズム (事前学修:教科書及び指摘した資料 事後学修:教科書及び配布資料)</p> <p>9. 失業の現状 失業率の動向、失業者の区分 (事前学修:教科書及び指摘した資料 事後学修:教科書及び配布資料)</p> <p>10. フィリップス曲線 物価変化率と失業率 (事前学修:教科書及び指摘した資料 事後学修:教科書及び配布資料)</p> <p>11. UV分析 労働市場の不均衡 (事前学修:教科書及び指摘した資料 事後学修:教科書及び配布資料)</p> <p>12. 労働移動 (事前学修:指摘した資料 事後学修:配布資料)</p> <p>13. 障害者雇用 雇用の現状と雇用率制度 (事前学修:指摘した資料 事後学修:配布資料)</p> <p>14. 雇用慣行、解雇 (事前学修:指摘した資料 事後学修:配布資料)</p> <p>15. 雇用、失業の理論及び現状、政策の総理解 (事前学修:教科書及び指摘した資料 事後学修:教科書及び配布資料)</p> <p>16. 定期試験</p> <p>講義 1 回当たりの予習時間は 2 時間とし、教科書あるいは事前に指摘した資料の当該箇所を</p>				

読んでおく。復習時間はおおむね 2 時間とする。講義内容を復習し、理解を深める

【テキスト】永野仁：労働と雇用の経済学：中央経済社

【参考図書】適宜指示する

【成績評価の方法】

定期試験の成績及び中間レポートの内容評価。

定期試験は解答例について説明する。

対面授業			04006		
授業科目名:労働経済学Ⅱ			担当教員氏名:有利 隆一		
Labor Economics 2					
履修年次 2~4	2単位	後期	1コマ		
<p>【授業の目的】</p> <p>1. 「賃金等の労働条件、人事・労使関係」を中心に、その基本的な考え方と目下の主要な課題や問題、さらに、我々の生涯の段階に生ずる問題と制度や慣行、政策に関する理解を深める。</p> <p>2. 特に、日本の雇用賃金慣行、賃金や労働時間の現状や労働組合について、とりまとめ、説明できるようにする。</p>					
<p>【授業内容】</p> <p>1. 労働市場の内部化と人材育成 内部労働市場と外部労働市場 (事前学修:教科書及び指摘した資料 事後学修:教科書及び配布資料)</p> <p>2. 能力開発の仕組みと現状 サービス経済化、仕事内容の変化 (事前学修:指摘した資料 事後学修:配布資料)</p> <p>3. 年齢別賃金の動向 (事前学修:教科書及び指摘した資料 事後学修:教科書及び配布資料)</p> <p>4. 年功的な賃金に対する説明 人的資本モデル (事前学修:教科書及び指摘した資料 事後学修:教科書及び配布資料)</p> <p>5. 賃金格差 男女間格差、所得格差 (事前学修:指摘した資料 事後学修:配布資料)</p> <p>6. 労働時間の現状と法制 (事前学修:教科書及び指摘した資料 事後学修:教科書及び配布資料)</p> <p>7. 働き方改革と労務人事管理 (事前学修:教科書及び指摘した資料 事後学修:教科書及び配布資料)</p> <p>8. 労働組合の組織 組織率の推移とその要因、企業別労働組合 (事前学修:教科書及び指摘した資料 事後学修:教科書及び配布資料)</p> <p>9. 労働組合の機能 労使関係、労使交渉 (事前学修:教科書及び指摘した資料 事後学修:教科書及び配布資料)</p> <p>10. 多様な就業形態 (事前学修:教科書及び指摘した資料 事後学修:教科書及び配布資料)</p> <p>11. 若年層の就業問題 フリーター・ニート、キャリア形成 (事前学修:教科書及び指摘した資料 事後学修:教科書及び配布資料)</p> <p>12. 女性労働と雇用差別 (事前学修:指摘した資料 事後学修:配布資料)</p> <p>13. 高齢者の就業 (事前学修:指摘した資料 事後学修:配布資料)</p> <p>14. 外国人の問題 (事前学修:指摘した資料 事後学修:配布資料)</p> <p>15. 賃金、労働時間、労働組合の理論及び現状、政策の総理解 (事前学修:教科書及び指摘した資料 事後学修:教科書及び配布資料)</p> <p>16. 定期試験</p> <p>講義 1 回当たりの予習時間は 2 時間とし、教科書あるいは事前に指摘した資料の当該箇所を読んでおく。復習時間はおおむね 2 時間とする。講義内容を復習し、理解を深める。</p>					
【テキスト】永野仁:労働と雇用の経済学:中央経済社					
【参考図書】適宜指示する。					
<p>【成績評価の方法】定期試験の成績及び中間レポートの内容評価。 定期試験は解答例について説明。</p>					

対面授業				04007
授業科目名:ミクロ経済学			担当教員氏名:田中 康秀	
Microeconomics				
履修年次 2~4	2単位	前期	1コマ	
<p>【授業の目的】 受講生が受講終了までに次のようなことができるようになることが到達目標である。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ミクロ経済学の基礎を理解し、その知識を使って人々の経済活動を説明することができる。 2. 他の経済学関連科目や他学部関連科目の理解を深めることができる。 3. 公務員試験等の各種資格試験におけるミクロ経済学分野で十分な成果をあげることができる。 				
<p>【授業内容】 この講義では、経済学の基礎理論の1つであるミクロ経済学について、その入門的講義を行う。即ち、市場の需要曲線と供給曲線の導出、及び、完全競争市場の調整機能と効率性問題、さらに、不完全競争市場や市場の失敗について講義を行う。また、分析手法であるゲーム理論についても解説する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ミクロ経済学の考え方と分析ツール 事前学修:教科書 Set up 01 & 02 及び参考書(伊藤)第0章と第1章を読む。 事後学修:講義レジュメの復習と演習問題を確認する。 2. 消費者(家計)の行動(1):最適消費計画 事前学修:教科書 Unit 01 及び参考書(伊藤)第5章を読む。 事後学修:講義レジュメの復習と演習問題を確認する。 3. 消費者(家計)の行動(2):所得効果と価格効果 事前学修:教科書 Unit 02 & 03 及び参考書(伊藤)第6章1節&2節を読む。 事後学修:講義レジュメの復習と演習問題を確認する。 4. 消費者(家計)の行動(3):所得弾力性と価格弾力性 事前学修:教科書 Unit 04 及び参考書(伊藤)第2章を読む。 事後学修:講義レジュメの復習と演習問題を確認する。 5. 消費者(家計)の行動(4):異時点間消費理論 事前学修:教科書 Unit 06 及び参考書(伊藤)第6章3節&第15章を読む。 事後学修:講義レジュメの復習と演習問題を確認する。 6. 企業の行動(1):企業の最適決定 事前学修:教科書 Unit 08 & 09 及び参考書(伊藤)第3章&第7章4節を読む。 事後学修:講義レジュメの復習と演習問題を確認する。 7. 企業の行動(2):長期の企業行動 事前学修:教科書 Unit 10 及び参考書(伊藤)第4章4節&第7章1節,2節,3節を読む。 事後学修:講義レジュメの復習と演習問題を確認する。 8. 完全競争市場(1):市場の調整機能 事前学修:教科書 Unit 11 及び参考書(伊藤)第1章&第4章1節を読む。 事後学修:講義レジュメの復習と演習問題を確認する。 9. 完全競争市場(2):市場の安定化と効率分析 事前学修:教科書 Unit 12 & 13 及び参考書(伊藤)第4章2節,3節を読む。 事後学修:講義レジュメの復習と演習問題を確認する。 10. 完全競争市場(3):純粋交換経済 事前学修:教科書 Unit 14 及び参考書(伊藤)第8章1節,2節を読む。 事後学修:講義レジュメの復習と演習問題を確認する。 11. 不完全競争市場(1):独占企業の行動と独占的競争 事前学修:教科書 Unit 15 & 19 及び参考書(伊藤)第9章1節,2節を読む。 事後学修:講義レジュメの復習と演習問題を確認する。 				

<p>12. 不完全競争市場(2):寡占企業の行動 事前学修:教科書 Unit 16 & 18 及び参考書(伊藤)第 9 章 3 節を読む。 事後学修:講義レジュメの復習と演習問題を確認する。</p> <p>13. ゲーム理論入門 事前学修:教科書 Unit 17 及び参考書(伊藤)第 10 章を読む 事後学修:講義レジュメの復習と演習問題を確認する。</p> <p>14. 市場の失敗(1):公共財と外部不経済 事前学修:教科書 Unit 20 & 21 及び参考書(伊藤)第 12 章 1 節,3 節を読む 事後学修:講義レジュメの復習と演習問題を確認する。</p> <p>15. 市場の失敗(2):費用逦減産業と情報の不完全性 事前学修:教科書 Unit 22 & 23 及び参考書(伊藤)第 12 章 2 節&第 13 章&第 14 章を読む。 事後学修:講義レジュメの復習と演習問題を確認する。</p> <p>16. 定期試験</p> <p>予習(1 時間程度):教科書の関連部分を事前に読んでおいて下さい。 復習(2 時間程度):教科書及び関連演習問題で授業の内容を再確認してください。</p>
<p>【テキスト】 プリントを配布する</p>
<p>【参考図書】 茂木喜久雄:新・らくらくミクロ経済学入門(第 2 版):洋泉社 伊藤元重:ミクロ経済学(第 3 版):日本評論社</p>
<p>【成績評価の方法】 試験のみ。講義の理解度を確認するために行う中間試験の成績(30%)と定期試験の成績(70%)で評価します。</p>

対面授業			04008	
授業科目名: 中級ミクロ経済学			担当教員氏名: 田中 康秀	
Intermediate Microeconomics				
履修年次 2~4	2単位	後期	1コマ	
<p>【授業の目的】 受講生が受講終了までに次のようなことができるようになることが到達目標である。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 中級ミクロ経済学の基礎を理解し、その知識を使って人々の経済活動を説明することができる。 2. 他の経済学関連科目や他学部関連科目の理解を深めることができる。 3. 公務員試験等の各種資格試験におけるミクロ経済学分野で十分な成果をあげることができる。 				
<p>【授業内容】 この講義では、「ミクロ経済学」の講義を踏まえて、ミクロ経済学の各分野について中級レベルの講義を行う。即ち、市場の需要曲線と供給曲線の導出、完全競争市場の調整機能と効率性問題、不完全競争市場や市場の失敗などについて、数学的方法を用いた分析を含めて講義を行い、また演習問題を行うことによって、それぞれの内容の理解度を深めてもらうよう講義する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ミクロ経済学の課題 講義レジュメ及び参考書第1章 事前学修: 参考書第1章を読む 事後学修: 配布演習問題を確認する 2. 消費者の行動と需要曲線の導出(1): 最適消費計画 講義レジュメ及び参考書第2,5章 事前学修: 参考書第2,5章を読む 事後学修: 配布演習問題を確認する 3. 消費者の行動と需要曲線の導出(2): 所得効果と代替効果 講義レジュメ及び参考書第6章 1,2節 事前学修: 参考書第6章 1,2節を読む 事後学修: 配布演習問題を確認する 4. 企業の行動と供給曲線の導出(1): 費用構造 講義レジュメ及び参考書第3章 事前学修: 参考書第3章を読む 事後学修: 配布演習問題を確認する 5. 企業の行動と供給曲線の導出(2): 複数生産要素の最適配分 講義レジュメ及び参考書第7章 事前学修: 参考書第7章を読む 事後学修: 配布演習問題を確認する 6. 調整機構としての市場メカニズム(1): 市場の効率性 講義レジュメ及び参考書第4章 事前学修: 参考書第4章を読む 事後学修: 配布演習問題を確認する 7. 調整機構としての市場メカニズム(2): 純粋交換経済 講義レジュメ及び参考書第8章 事前学修: 参考書第8章を読む 事後学修: 配布演習問題を確認する 8. 独占企業の行動と独占的競争 講義レジュメ及び参考書第9章 事前学修: 参考書第9章を読む 事後学修: 配布演習問題を確認する 				

<p>9. 寡占企業の行動 講義レジュメ 事前学修: 講義レジュメを読む 事後学修: 配布演習問題を確認する</p> <p>10. 生産要素市場としての労働市場 講義レジュメ及び参考書第 6 章 3 節 事前学修: 参考書第 6 章 3 節を読む 事後学修: 配布演習問題を確認する</p> <p>11. 市場の失敗—外部性・公共財 講義レジュメ及び参考書第 12 章 事前学修: 参考書第 12 章を読む 事後学修: 配布演習問題を確認する</p> <p>12. ゲーム理論入門 講義レジュメ及び参考書第 10、11 章 事前学修: 参考書第 10、11 章を読む 事後学修: 配布演習問題を確認する</p> <p>13. 不確実性・不完全情報下における経済活動 講義レジュメ及び参考書第 13,14 章 事前学修: 参考書第 13,14 章を読む 事後学修: 配布演習問題を確認する</p> <p>14. 異時点間における資源配分 講義レジュメ及び参考書第 15 章 事前学修: 参考書第 15 章を読む 事後学修: 配布演習問題を確認する</p> <p>15. まとめ</p> <p>16. 定期試験</p> <p>予習(2 時間程度): 講義レジュメと参考書の関連部分を事前に読んでおいて下さい。 復習(2 時間程度): 講義レジュメと参考書及び配布する関連演習問題で授業の内容を再確認してください。</p>
<p>【テキスト】 プリントを配布する</p>
<p>【参考図書】 伊藤元重:ミクロ経済学(第 3 版):日本評論社</p>
<p>【成績評価の方法】 試験のみ。講義の理解度を確認するために行う中間試験の成績(30%)と定期試験の成績(70%)で評価します。</p>

対面授業				04009
授業科目名:市場調査論			担当教員氏名:佐井 至道	
Marketing Research				
履修年次 3~4	2単位	前期	1コマ	
【授業の目的】 1) 市場調査や社会調査の歴史と概要を理解する。 2) 調査の企画方法や実施方法という一連の流れを理解する。 3) 得られたデータの要約方法や簡単な推定方法についても理解する。				
【授業内容】 1.市場調査や社会調査の歴史・概論と統計との関係について[教科書 第1章] ・事前学修:講義で使用する手法や用語の予習 ・事後学修:講義で学習した手法や用語の復習 2.データの要約方法について(量的データと質的データ)[教科書 第2章] ・事前学修:講義で使用する手法・用語の予習 ・事後学修:返却されたレポートについての復習 3.調査の目的について[教科書 第1章, 第5章] ・事前学修:講義で使用する手法・用語の予習 ・事後学修:返却されたレポートについての復習 4.調査方法について[教科書 第3章] ・事前学修:講義で使用する手法・用語の予習 ・事後学修:返却されたレポートについての復習 5.調査の手順について(企画・実施・分析と報告)[教科書 第5章] ・事前学修:講義で使用する手法・用語の予習 ・事後学修:返却されたレポートについての復習 6.調査票設計の注意点と回答形式の種類[教科書 第4章] ・事前学修:講義で使用する手法・用語の予習 ・事後学修:返却されたレポートについての復習 7.特殊な質問法について(語句連想法など)[教科書 第3章] ・事前学修:調査票の作成 ・事後学修:調査の実施と検証 8.母集団と標本との関係(国勢調査など)[教科書 第6章] ・事前学修:講義で使用する手法・用語の予習 ・事後学修:返却されたレポートについての復習 9.無作為抽出と有意抽出について(平均株価など)[教科書 第6章] ・事前学修:講義で使用する手法・用語の予習 ・事後学修:返却されたレポートについての復習 10.乱数表・疑似乱数とその応用について[教科書 第6章] ・事前学修:講義で使用する手法・用語の予習 ・事後学修:返却されたレポートについての復習 11.重複抽出と不重複抽出[教科書 第6章] ・事前学修:講義で使用する手法・用語の予習 ・事後学修:返却されたレポートについての復習 12.サンプリング実験[教科書 第6章] ・事前学修:講義で使用する手法・用語の予習 ・事後学修:返却されたレポートについての復習 13.調査データのチェックについて[教科書 第5章] ・事前学修:講義で使用する手法・用語の予習 ・事後学修:返却されたレポートについての復習 14.調査データの整理について[教科書 第5章] ・事前学修:講義で使用する手法・用語の予習				

- ・事後学修:返却されたレポートについての復習
- 15.調査データの分析方法について[教科書 第8章]
- ・事前学修:分析するデータの収集
 - ・事後学修:予測結果と実際の値との差の評価

予習(1時間程度)使用するデータの選定,講義で使用する手法・用語の予習など
復習(3時間程度)レポートの作成,返却されたレポートについての復習など
など

【テキスト】佐井至道著 :例解調査論 :大学教育出版

【参考図書】適宜指示する

【成績評価の方法】

試験とレポート両方

基本的には,レポートを50%,テストを50%とするが,講義内の提出物に関する点数を加算・減算して評価する。講義内の提出物については,毎回チェックして返却し,次回の講義で解説する。

対面授業			04010	
授業科目名:国際経済学 I			担当教員氏名:山下 賢二	
International Economics 1				
履修年次 2~4	2単位	前期	1コマ	
<p>【授業の目的】 受講生が受講終了までに次のようなことができるようになることが到達目標である。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.貿易の持つ経済的意味を理解できる 2.基本的な貿易理論の基本的な部分を習得できる 3.自由貿易、グローバル化のメリットを理解できる 4.ミクロ経済学をより深く理解できる 				
<p>【授業内容】</p> <p>01.国際経済学とは何か？(chap.1) 事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと</p> <p>02.国際貿易の基本～貿易の発生理由と仕組み～(chap.2) 事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと</p> <p>03.伝統的貿易の理論～リカード・モデル(1)比較優位と絶対優位(chap.3) 事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと</p> <p>04.伝統的貿易の理論～リカード・モデル(2)部分均衡分析(1)(chap.3) 事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと</p> <p>05.伝統的貿易の理論～リカード・モデル(3)部分均衡分析(2)(chap.3) 事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと</p> <p>06.伝統的貿易の理論～リカード・モデル(4)一般均衡分析(chap.3) 事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと</p> <p>07.伝統的貿易の理論～ヘクシャー・オリーンモデル(1)リカード・モデルとの比較(chap.4) 事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと</p> <p>08.伝統的貿易の理論～ヘクシャー・オリーンモデル(2)ヘクシャー・オリーンの定理(chap.4) 事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと</p> <p>09.伝統的貿易の理論～ヘクシャー・オリーンモデル(3)要素価格均等化定理(chap.4) 事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと</p> <p>10.伝統的貿易の理論～ヘクシャー・オリーンモデル(4)レオンチェフの逆説(chap.5) 事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと</p> <p>11.貿易政策の理論～自由貿易と保護貿易(1)自由貿易下の経済と関税のある経済との厚生比較(chap.6) 事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと</p> <p>12.貿易政策の理論～自由貿易と保護貿易(2)関税・輸出税・輸入補助金・輸出補助金の効果(chap.6) 事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと</p> <p>13.新しい貿易理論(1)クルーグマン・モデル(新貿易理論)(※プリントを前講義で配布)</p>				

<p>事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと 14.新しい貿易理論(2)メリッツ・モデル(新々貿易理論)(※プリントを前講義で配布) 事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと 15.まとめ～総復習～ 事前学修:当講義のノートを全部を読んでおくこと 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと 16.定期試験</p> <p>予習(1時間):テキストの当該箇所を読んでおくこと 復習(1時間):講義ノートを読み返すこと</p>
<p>【テキスト】aul R. Krugman・Maurice Obstfeld ・Marc J. Melitz (著)、山形 浩生・守岡 桜 (翻訳): クルーグマン国際経済学 理論と政策 [原書第 10 版]上:貿易編:丸善出版</p>
<p>【参考図書】適宜指示する</p>
<p>【成績評価の方法】 定期試験(80%)小テスト(20%) ※試験終了後に Web 上で模範解答を公開する</p>

対面授業				04011
授業科目名:国際経済学Ⅱ			担当教員氏名:山下 賢二	
International Economics 2				
履修年次 2~4	2単位	後期	1コマ	
<p>【授業の目的】 受講生が受講終了までに次のようなことができるようになることが到達目標である。 1.開放経済下でのマクロ経済学(国際マクロ経済学)の基礎を理解できる 2.新旧(BPM5 と BPM6)を理解できる 3.為替レートの決定理論を理解できる 4.開放経済下でのマクロ経済政策の効果を理解できる</p>				
<p>【授業内容】 01. 国際マクロ経済学とは何か?(chap.1) 事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと 02. 国際収支統計表(1)~国際収支表の概要、BPM5(旧版)の理解~(chap.1) 事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと 03. 国際収支統計表(2)~BPM6(新版)の理解、BPM5 と BPM6 の比較~(chap.1 とプリント) 事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと 04. 為替レートと国民所得(chap.1) 事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと 05. 為替レートの決定理論(1)~為替レートとは何か、長期の為替レート決定理論~(chap.2,4) 事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと 06. 為替レートの決定理論(2)~短期の為替レート決定理論(1)アブソープションアプローチ(1)~(chap.6) 事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと 07. 為替レートの決定理論(3)~短期の為替レート決定理論(2)アブソープションアプローチ(2)~(chap.6) 事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと 08. 為替レートの決定理論(4)~短期の為替レート決定理論(3)弾力性アプローチ~(chap.4) 事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと 09. 為替レートの決定理論(5)~短期の為替レート決定理論(4)ポートフォリオ・バランスアプローチ~(chap.5) 事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと 10. 為替レートの決定理論(6)~短期の為替レート決定理論(5)マンデル・フレミングアプローチ~(chap.7) 事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと 11. 国際マクロ経済政策(1)~IS-LM-BP 分析(各曲線の導出)~(chap.7) 事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと 12. 国際マクロ経済政策(2)~IS-LM-BP 分析(変動相場制での小国のケースの財政・金融政策)~(chap.7)</p>				

<p>事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと 13. 国際マクロ経済政策(3)～IS-LM-BP 分析(固定相場制での小国のケースの財政・金融政策)～(chap.7) 事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと 14. 国際マクロ経済政策(4)～IS-LM-BP 分析(資本移動が不完全なときの財政・金融政策)～(chap.7) 事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと 15. 総復習 事前学修:当講義のノートを全部を読んでおくこと 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと 16. 定期試験</p> <p>予習(1時間):テキストの当該箇所を読んでおくこと 復習(1時間):講義ノートを読み返すこと</p>
<p>【テキスト】岩本武和:国際経済学(国際金融編):ミネルヴァ書房</p>
<p>【参考図書】適宜指示する</p>
<p>【成績評価の方法】 定期試験(80%)小テスト(20%) ※試験終了後に Web 上で模範解答を公開する</p>

対面授業				04012
授業科目名: マクロ経済学			担当教員氏名: 山下 賢二	
Macroeconomics				
履修年次 2~4	2単位	前期	1コマ	
<p>【授業の目的】 受講生が受講終了までに次のようなことができるようになることが到達目標である。 1.マクロ経済学の基本的な部分を習得できる 2.現実のマクロ経済を観察するにあたって、理論的な視点に立って思考できる 3.経済学のその他応用分野を学習するための基礎の確立できる</p> <p>【授業内容】 ※入…入門編 応…応用編(テキスト)</p> <p>01.マクロ経済学とは何か?(入 chap.1) 事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと</p> <p>02.マクロ経済学のデータ(1)～GDP(1)全体像～(入 chap.1、2) 事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと</p> <p>03.マクロ経済学のデータ(2)～GDP(2)計算～(入 chap.1、2) 事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと</p> <p>04.マクロ経済学のデータ(3)～物価水準、失業率～(入 chap.1、2) 事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと</p> <p>05.経済循環図(1)～三面等価の法則(1)全体図・生産面(供給面)・支出面(需要面)～(入 chap.3) 事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと</p> <p>06.経済循環図(2)～三面等価の法則(2)分配面～(入 chap.3) 事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと</p> <p>07.マクロ経済学の理論の概要～マクロ経済学における長期と短期～(入 chap.3) 事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと</p> <p>08.長期の理論(1)～財市場と労働市場～(入 chap.3) 事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと</p> <p>09.長期の理論(2)～金融市場～(入 chap.4) 事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと</p> <p>10.長期の理論(3)～長期における政策の効果(1)財政政策～(入 chap.3) 事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと</p> <p>11.長期の理論(4)～長期における政策の効果(2)金融政策・古典派の二分法～(入 chap.4) 事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと</p> <p>12.短期の理論(1)～短期理論の概要・IS-LM 分析の概要～(入 chap.7、8) 事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと</p> <p>13.短期の理論(2)～IS-LM 分析、IS 曲線の導出、短期の財市場と労働市場～(入 chap.7、8)</p>				

<p>事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと 14.短期の理論(3)～IS-LM分析、LM曲線の導出、短期の金融市場～(入 chap.7、8) 事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと 15.短期の理論(4)～IS-LM分析(政策分析)～(入 chap.9) 事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと 16.定期試験</p> <p>※「国際マクロ経済学」に関しては、「国際経済学 2」で取り扱う。</p> <p>予習(1時間):テキストの当該箇所を読んでおくこと 復習(1時間):講義ノートを読み返すこと</p>
<p>【テキスト】 N・グレゴリー・マンキュー:マンキュー マクロ経済学 1～入門編～:東洋経済新報社</p>
<p>【参考図書】適宜指示する</p>
<p>【成績評価の方法】 定期試験(80%)小テスト(20%) ※試験終了後に Web 上で模範解答を公開する</p>

対面授業			04013	
授業科目名: 中級マクロ経済学			担当教員氏名: 山下 賢二	
Intermediate Macroeconomics				
履修年次 2~4	2単位	後期	1コマ	
<p>【授業の目的】 受講生が受講終了までに次のようなことができるようになることが到達目標である。 1.学部レベルのマクロ経済学を習得できる 2.現実のマクロ経済を観察するにあたって、理論的な視点に立って思考できる 3.経済学のその他応用分野を学習するための基礎を確立できる</p> <p>※入…入門編 応…応用編(テキスト)</p> <p>01. 前期の復習(1)～経済循環図・三面等価の法則～(入 chap.3) 事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと</p> <p>02. 前期の復習(2)～マクロ経済学における長期と短期の概要～(入 chap.3、4、7) 事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと</p> <p>03. IS-LM 分析(1)～短期の財市場、乗数効果～(入 chap.8) 事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと</p> <p>04. IS-LM 分析(2)～IS 曲線の導出、LM 曲線の導出～(入 chap.8) 事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと</p> <p>05. IS-LM 分析(3)～短期の投資理論、短期の財政政策～(入 chap.9) 事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと</p> <p>06. IS-LM 分析(4)～短期の金融政策～(入 chap.9) 事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと</p> <p>07. IS-LM 分析(5)～ポリシーミックス、総需要曲線の導出～(入 chap.9) 事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと</p> <p>08. 失業とインフレーション(1)～右上がりの短期(中期)AS 曲線(1)※4つの説のうち2つを説明～(入 chap.11) 事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと</p> <p>09. 失業とインフレーション(2)～右上がりの短期(中期)AS 曲線(2)※残り2つを説明～(入 chap.11) 事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと</p> <p>10. 失業とインフレーション(3)～AD-AS 分析(短期と長期の関係)～(入 chap.11) 事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと</p> <p>11. 失業とインフレーション(4)～オウクンの法則、フィリップス曲線～(入 chap.11) 事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと</p> <p>12. 中央銀行と金融政策(応 chap.7) 事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと</p> <p>13. マクロ経済学のミクロ的基礎(1)～消費理論～(応 chap.5) 事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと</p>				

<p>事後学修:講義ノートを読み直しておくこと 14. マクロ経済学のミクロ的基礎(2)～投資理論～(応 chap.6) 事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと 15. マクロ政策論争(応 chap.4) 事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと 16. 定期試験</p> <p>※「国際マクロ経済学」に関しては、「国際経済学 2」で取り扱う。</p> <p>予習(1時間):テキストの当該箇所を読んでおくこと 復習(1時間):講義ノートを読み返すこと</p>
<p>【テキスト】 N・グレゴリー・マンキュー:マクロ経済学 1～入門編～:東洋経済新報社 N・グレゴリー・マンキュー:マクロ経済学 2～応用編～:東洋経済新報社</p>
<p>【参考図書】適宜指示する</p>
<p>【成績評価の方法】 定期試験(80%)小テスト(20%) ※試験終了後に Web 上で模範解答を公開する</p>

対面授業			04014	
岡山経営者論 I【旧:経営学特殊講義 I】			担当教員氏名:陳 惠貞	
Management in Okayama 1				
年次 1~4	2単位	前期	1コマ	
<p>【授業の目的】 経営分野で活躍されている経営者の講義を受講することにより、経営理論、経営手法について、アクティブラーニングを含めて習得し、概要が説明できるようにすることを到達目標とする。 経営理論と経営手法の習得 (1)企業経営の方針、戦略、戦術について、概要が説明できるようにする。 (2)顧客指向の経営について、概要が説明できるようにする。 (3)地域社会への貢献について、概要が説明できるようにする。 (4)問題に対して、グループで提案し、まとめをして発表できるようにする。</p>				
<p>【授業内容】 (一社)岡山経済同友会のボランティアプロフェッサー制度により、同友会の会員企業の方を中心として、講義を担当するオムニバス方式の講義である。本年度で25年目を迎える経営者や企業・団体の一線で活躍する方の話を直接聴くことができる講義である。</p> <p>授業の位置付け:CP1 専門知識, CP3 思考力, CP4 判断力, CP5 会話/文章力, CP7 協調性 授業形態:アクティブラーニング 授業方法:能動型</p> <p>4月13日(月) 岡山商科大学 大崎紘一 4月20日(月) 岡山商科大学 陳 惠貞 4月27日(月)、5月11日(月) 日本オリーブ(株) 代表取締役会長 服部恭一郎 様 5月18日(月)、5月25日(月) (株)フジワラテクノアート 代表取締役社長 藤原恵子 様 6月1日(月)、6月8日(月) 菅公学生服(株) 代表取締役社長 尾崎 茂 様 6月15日(月)、6月22日(月) 鷹取醤油(株) 代表取締役社長 鷹取宏尚 様 6月29日(月)、7月6日(月) 講師調整中 7月13日(月)、7月20日(月) 講師調整中 7月27日(月) 岡山商科大学 大崎紘一</p> <p>* 講義資料は、講義の最初に配布しますが、資料のない場合もあります。 受講者数は、最大 150 名です。 また、授業態度に問題がある場合、次回以降の出席を認めないこともあります。</p> <p>講義を受講するに際して、予習 2 時間・復習 2 時間を取ることに 予習内容:上記のスケジュールに従って、企業のホームページ検索や関連書籍を読むこと 復習内容:配布資料を見直し、参考書を読むことで理解を深めること</p>				
<p>【テキスト】 プリントを配布する。 【参考図書】 適宜指示をする。</p>				
<p>【成績評価の方法】 講義資料に基づき、毎回の講義内容について学生がまとめを提出してもらいます。提出内容を講義担当教員がチェック・評価し、15 回の提出内容の評価から、成績評価を行います。合計点 100 点です。毎回、講義の始めに各自のスマートフォンを用いて出席登録を行うので、スマホを持参すること。欠席に対する補習について、VOD の利用を予定している。</p>				

本講座は受講できません。

対面授業			04015		
授業科目名:岡山経営者論Ⅱ【旧:経営学特殊講義Ⅱ】			担当教員氏名:陳 惠貞		
Management in Okayama 2					
履修年次	1~4	2単位	後期	1コマ	
<p>【授業の目的】 経営分野で活躍されている経営者の講義を受講することにより、経営理論、経営手法について、アクティブラーニングを含めて習得し、概要が説明できるようにすることを到達目標とする。 経営理論と経営手法の習得 (1)企業経営の方針、戦略、戦術について、概要が説明できるようにする。 (2)顧客指向の経営について、概要が説明できるようにする。 (3)地域社会への貢献について、概要が説明できるようにする。 (4)問題に対して、グループで提案し、まとめをして発表できるようにする。</p>					
<p>【授業内容】 (一社)岡山経済同友会のボランティアプロフェッサー制度により、同友会の会員企業の方を中心として、講義を担当するオムニバス方式の講義である。本年度で25年目を迎える経営者や企業・団体の一線で活躍する方の話を直接聴くことができる講義である。</p> <p>授業の位置付け:CP1 専門知識, CP3 思考力, CP4 判断力, CP5 会話/文章力, CP7 協調性 授業形態:アクティブラーニング 授業方法:能動型</p> <p>9月23日(水) 岡山商科大学 大崎絃一 9月28日(月) 岡山商科大学 陳 惠貞 10月5日(月)、10月12日(月) 講師調整中 10月26日(月)、11月2日(月) 講師調整中 11月9日(月)、11月16日(月) 講師調整中 11月25日(水)、11月30日(月) 講師調整中 12月7日(月)、12月14日(月) 講師調整中 12月21日(月)、1月4日(月) 講師調整中 1月18日(月) 岡山商科大学 大崎絃一</p> <p>* 講義資料は、講義の最初に配布しますが、資料のない場合もあります。 受講者数は、最大150名です。 また、授業態度に問題がある場合、次回以降の出席を認めないこともあります。</p> <p>講義を受講するに際して、予習2時間・復習2時間を取ること 予習内容:上記のスケジュールに従って、企業のホームページ検索や関連書籍を読むこと復習内容:配布資料を見直し、参考書を読むことで理解を深めること</p>					
【テキスト】プリントを配布する。					
【参考図書】適宜指示する。					
<p>【成績評価の方法】講義資料に基づき、毎回の講義内容について学生がまとめを提出してもらいます。提出内容を講義担当教員がチェック・評価し、15回の提出内容の評価から、成績評価を行います。合計点100点です。毎回、講義の始めに各自のスマートフォンを用いて出席登録を行うので、スマホを持参すること。欠席に対する補習について、VODの利用を予定している。</p>					

対面授業				04016
授業科目名:簿記論 I			担当教員氏名:陶 静	
Bookkeeping 1				
履修年次 1~4	2単位	前期	1コマ	
<p>【授業の目的】 受講生が授業修了までに次のようなことができることが到達目標である。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 複式簿記の基礎的な知識を身につけること。 2. 財務諸表の役割を理解すること。 3. 6桁精算表を作成できるようになること。 				
<p>【授業内容】</p> <p>第1回 インTRODクシヨN(講義の進め方)、 事前学修:簿記はどんな学問について調べる 事後学修:テキストと配付資料を再確認</p> <p>第2回 簿記の基礎(第1章) 事前学修:第1章の内容を読み込み 事後学修:テキストと配付資料を再確認</p> <p>第3回 簿記の基本概N(第2章) 事前学修:第2章の内容を読み込み 事後学修:テキストと配付資料を再確認</p> <p>第4回 取引と勘定(第3章) 事前学修:第3章の内容を読み込み 事後学修:テキストと配付資料を再確認</p> <p>第5回 仕訳と転記(第4章) 事前学修:第4章の内容を読み込み 事後学修:テキストと配付資料を再確認</p> <p>第6回 第1から4章の内容を復習する 事前学修:問題演習(第1から4章) 事後学修:テキストと配付資料を再確認</p> <p>第7回 小テストおよび解説(第1から4章) 事前学修:第1から4章の内容を再確認 事後学修:テキストと配付資料を再確認</p> <p>第8回 仕訳帳と総勘定元帳(第5章) 事前学修:第5章の内容を読み込み 事後学修:テキストと配付資料を再確認</p> <p>第9回 試算表と精算表1ー試算表(第6章の前半) 事前学修:第6章前半の内容を読み込み 事後学修:テキストと配付資料を再確認</p> <p>第10回 試算表と精算表2ー精算表(第6章の後半) 事前学修:第6章後半の内容を読み込み 事後学修:テキストと配付資料を再確認</p> <p>第11回 第5から6章の内容を復習する 事前学修:問題演習(第5から6章) 事後学修:テキストと配付資料を再確認</p> <p>第12回 決算1ー決算仕訳(第7章の前半) 事前学修:第7章の前半内容を読み込み 事後学修:テキストと配付資料を再確認</p> <p>第13回 決算2ー財務諸表の作成(第7章の後半) 事前学修:第7章後半の内容を読み込み 事後学修:テキストと配付資料を再確認</p> <p>第14回 第7章の内容を復習する 事前学修:問題演習(第7章)</p>				

<p>事後学修:テキストと配付資料を再確認 第 15 回 総復習(第1から7章) 事前学修:第1から7章の内容を復習する 事後学修:テキストと配付資料を再確認 定期試験</p> <p>進展状況により, 授業計画を変更する可能性がある。</p> <p>予習(1 時間程度)テキストの該当箇所を読んで、問題点(疑問点)を整理しておくこと。 復習(2 時間程度)講義の内容をもう一度整理し、自分の理解度と課題を整理すること。</p>
<p>【テキスト】関西学院大学会計学研究室 [編]:新版基本簿記論 第 4 版:中央経済社</p>
<p>【参考図書】適宜指示する</p>
<p>【成績評価の方法】</p> <p>期末筆記試験 (65%)(CP1 専門知識 50%、CP3 思考力 5%、CP4 判断力 5%、CP8 持続性 5%) 知識の理解度 (試験終了後に、掲示等で講評を行う。)</p> <p>小テスト(35%)(CP1 専門知識 20%、CP3 思考力 5%、CP4 判断力 5%、CP8 持続性 5%) 知識の理解度 (テスト終了後講義中で解説する。)</p> <p>なお、出席点は付けない。ただし、講義中に積極的に発言、討論に参加する受講生には加点を行う。反対に講義中に私語、携帯遊ぶ、居眠りなど講義に妨げる行為をする受講生には減点を行う。</p>

対面授業				04017
授業科目名:簿記論Ⅱ			担当教員氏名:陶 静	
Bookkeeping 2				
履修年次 1~4	2単位	後期	1コマ	
<p>【授業の目的】 受講生が授業修了までに次のようなことができることが到達目標である。 1. 複式簿記の基礎的な知識を身につけること。 2. 商業簿記の基礎問題を解けるようになること。</p>				
<p>【授業内容】</p> <p>第1回 イン트로ダクション(講義の進め方)、 事前学修:日商簿記初級について調べる 事後学修:テキストと配付資料を再確認</p> <p>第2回 簿記の基礎(第1章) 事前学修:第1章の内容を読み込み 事後学修:テキストと配付資料を再確認</p> <p>第3回 商品売買(第2章) 事前学修:第2章の内容を読み込み 事後学修:テキストと配付資料を再確認</p> <p>第4回 現金・預金(第3章) 事前学修:第3章の内容を読み込み 事後学修:テキストと配付資料を再確認</p> <p>第5回 手形と電子記録債権(債務)(第4章) 事前学修:第4章の内容を読み込み 事後学修:テキストと配付資料を再確認</p> <p>第6回 貸付金・借入金(第5章) 事前学修:第5章の内容を読み込み 事後学修:テキストと配付資料を再確認</p> <p>第7回 小テストおよび解説(第1から5章まで) 事前学修:第1から5章までの内容を再確認 事後学修:テキストと配付資料を再確認</p> <p>第8回 その他の取引1(第6章の前半) 事前学修:第6章前半の内容を読み込み 事後学修:テキストと配付資料を再確認</p> <p>第9回 その他の取引2(第6章の後半) 事前学修:第6章後半の内容を読み込み 事後学修:テキストと配付資料を再確認</p> <p>第10回 固定資産(第7章) 事前学修:第7章の内容を読み込み 事後学修:テキストと配付資料を再確認</p> <p>第11回 租税公課と消費税・資本金(第8章) 事前学修:第8章の内容を読み込み 事後学修:テキストと配付資料を再確認</p> <p>第12回 帳簿への記入(第9章) 事前学修:第9章の内容を読み込み 事後学修:テキストと配付資料を再確認</p> <p>第13回 試算表(第10章) 事前学修:第10章の内容を読み込み 事後学修:テキストと配付資料を再確認</p> <p>第14回 伝票と仕訳日計表(第11章) 事前学修:第11章の内容を読み込み 事後学修:テキストと配付資料を再確認</p>				

<p>第 15 回 総復習(第1から 11 章まで)</p> <p>事前学修:第1から 11 章までの内容を復習する</p> <p>事後学修:テキストと配付資料を再確認</p> <p>定期試験</p> <p>進展状況により, 授業計画を変更する可能性がある。</p> <p>予習(1 時間程度)テキストの該当箇所を読んで、問題点(疑問点)を整理しておくこと。</p> <p>復習(2 時間程度)講義の内容をもう一度整理し、自分の理解度と課題を整理すること。</p>
<p>【テキスト】滝澤ななみ:スッキリわかる日商初級:TAC 出版</p>
<p>【参考図書】適宜指示する</p>
<p>【成績評価の方法】</p> <p>期末筆記試験 (65%)(CP1 専門知識 50%、CP3 思考力 5%、CP4 判断力 5%、CP8 持続性 5%)</p> <p>知識の理解度</p> <p>(試験終了後に、掲示等で講評を行う。)</p> <p>小テスト(35%)(CP1 専門知識 20%、CP3 思考力 5%、CP4 判断力 5%、CP8 持続性 5%)知識の理解度</p> <p>(テスト終了後講義中で解説する。)</p> <p>なお、出席点は付けない。ただし、講義中に積極的に発言、討論に参加する受講生には加点を行う。反対に講義中に私語、携帯遊ぶ、居眠りなど講義に妨げる行為をする受講生には減点を行う。</p>

対面授業				04018
授業科目名:情報処理概論Ⅱ			担当教員氏名:島田 伸夫	
Introduction to Information Processing 2				
履修年次 1~4	2単位	後期	1コマ	
<p>【授業の目的】 受講生が受講後つぎのようなことができるようになること。 1.社会調査の意味を知り、社会調査の意味を概説できる。 2.社会調査の統計的基礎について、正しく利用できる。 3.簡単なクロス集計ができ、具体的な例で説明できる。 4.調査票の作成ができる。 5.簡単な社会調査が実施できる。</p>				
<p>【授業内容】 1.オリエンテーション 事前学修 シラバスを熟読する 事後学修 授業内容を復習する 2.情報処理と社会調査(参考図書 2-4) 事前学修 授業内容を予習する 事後学修 授業内容を復習する 3.社会調査の意義や歴史(参考図書 12-15) 事前学修 授業内容を予習する 事後学修 授業内容を復習する 4.社会調査の用途や倫理(参考図書 16-19) 事前学修 授業内容を予習する 事後学修 授業内容を復習する 5.社会調査に用いる統計の基礎(データの測定尺度) 事前学修 授業内容を予習する 事後学修 授業内容を復習する 6.社会調査に用いる統計の基礎(データを1つにまとめた表現) 事前学修 授業内容を予習する 事後学修 授業内容を復習する 7.量的データと質的データ 事前学修 授業内容を予習する 事後学修 授業内容を復習する 8.クロス集計 事前学修 授業内容を予習する 事後学修 授業内容を復習する 9.社会調査の種類(参考図書 13) 事前学修 授業内容を予習する 事後学修 授業内容を復習する 10.国勢調査 事前学修 授業内容を予習する 事後学修 授業内容を復習する 11.世論調査 事前学修 授業内容を予習する 事後学修 授業内容を復習する 12.マーケティング調査 事前学修 授業内容を予習する 事後学修 授業内容を復習する 13.調査票の作成方法(参考図書 72-93) 事前学修 授業内容を予習する</p>				

<p>事後学修 授業内容を復習する 14.社会調査の実習(本調査の準備と実施) 事前学修 授業内容を予習する 事後学修 授業内容を復習する 15.社会調査の実習(調査データの解析) 事前学修 授業内容を予習する 事後学修 授業内容を復習する</p> <p>予習:各テーマについて、その内容がどのようなものを事前に調べておく。:1時間 復習:講義内容を実際に利用した、社会調査についてのレポートを作成する:2時間</p>
<p>【テキスト】 使用しない</p>
<p>【参考図書】辻新六:アンケート調査の方法:朝倉書店 【成績評価の方法】 レポートのみ 上掲の到達目標にどの程度達したかを毎回授業終了後簡単なレポートを書いてもらい、その内容で評価する。定期試験は行わない。レポートは、優秀なものを次回紹介する。 各自のスマートフォンを用いて出席を管理するのでスマホを持参すること。持っていない人は別方法で出席管理します。</p>

対面授業				04019
授業科目名:社会調査実践			担当教員氏名:田中 潔	
Social Research Practice				
履修年次 3~4	4単位	通年	1コマ	
<p>【授業の目的】 この授業では、街区における社会調査を企画し実施、集計、発表を必ず行わなければならない。 これらの学習や経験を通じて、以下のことができるようになる。 1.調査一連の流れを理解し実践することができる。 2.社会調査士資格のカリキュラムG科目(実習)を取得できる。 社会調査協会の認定科目に基づき評価され、社会調査士(見込みや正規)資格取得のための最終科目(ハードル)と位置付けられる。知識修得よりも実践が要求される。</p>				
<p>【授業内容】 位置づけ CP1専門知識、CP2一般知識、CP3思考力、CP5文章力、CP9倫理観 講義形式 講義+実地実習 評価形式 演習・実習過程(配分は評価方法)</p>				
<p>1.社会調査の目的と調査の種類 事前: 目的種類をテキストで調べる 事後: 目的種類をまとめる</p> <p>2.仮説に基づく調査の立案 事前: 統計的仮説を復習 事後: 調査仮設の立て方を知る</p> <p>3.質問紙の設計, 配布, 回収 事前: 質問紙の役割と注意点 事後: 質問紙のチェックが出来る</p> <p>4.調査対象を考える 事前: さまざまな集団と調査方法 事後: 集団に合った調査方法を考える</p> <p>5.母集団と標本集団 事前: 2つの集団の違いについて 事後: 2集団の役割を区別する</p> <p>6.標本抽出調査と悉皆調査 事前: 悉皆調査の困難性 事後: 標本調査の重要性と推測</p> <p>7.標本の選定と標本数の決定 事前: 調査の標本数決定の意義 事後: 標本数決定の練習</p> <p>8.設問の配列と記述の注意 事前: 配列効果の例を予習 事後: 調査票レイアウトを整理する</p> <p>9.調査用紙レイアウト 事例: 調査票完成の注意点 事後: 集計向け調査票に改善</p> <p>10.調査用紙とエクセルシート 事前: エクセルでの構成法 事後: 例題票をエクセルファイル作成</p> <p>11.回収データの入力とエディティング 事前: シートへの入力とデータ修正 事後: データチェックを所与のファイルで行う</p> <p>12.集計のためのシート利用 事前: ankstat シートの予習 事後: ankstat シートの復習</p> <p>13.基礎等計量と度数集計 事前: 基礎統計量とは 事後: 基礎統計量の役割と意味</p> <p>14.集計表とグラフによる視覚化 事前: 度数表を復讐 事後: 度数表の視覚化をまとめる</p> <p>15.度数集計からクロス集計へ 事前: 度数表、クロス表の構成 事後: クロス表の解釈</p> <p>16.プレゼン資料との連携 事前: プレゼン資料の準備 事後: 修正点の改善</p> <p>17.実データによる入力演習 事前: 自分のデータを入力 事後: データの目視チェック</p> <p>18.実データによるデータチェック</p>				

<p>事前： 範囲チェック法を知る</p> <p>19.実データによる集計作業</p> <p>事前： ankstat 統計計算</p> <p>20.実データによるプレゼン資料作成</p> <p>事前： パワーポイント資料作成</p> <p>21.実査実施の概要と課題</p> <p>事前： 協会課題の実査準備、実査</p> <p>22.実査の計画と調査用紙立案</p> <p>事前： 自己計画と用紙案</p> <p>23.実査調査用紙の作成</p> <p>24.実査の実施</p> <p>25.回収票の整理、データチェック</p> <p>26.実査データの集計と視覚化</p> <p>27.実査データのクロス分析</p> <p>28.プレゼン資料の製作</p> <p>29.実施した調査報告会</p> <p>30.社会調査士資格取得のために</p> <p>復習1時間 課題解答・課題作成</p> <p>予習1時間 次段階の作業内容の段取り</p>	<p>事後： 実データを完成させる</p> <p>事後： 実データの統計分析</p> <p>事後： ppt 資料の訂正・完成</p> <p>事後： 回収率求める</p> <p>事後： 訂正を反映</p>
【テキスト】プリントを配付する	
【参考図書】適宜指示する	
【成績評価の方法】	
<p>社会調査士認定科目Gである。特に最終課題は「社会調査協会」提出となるため、自分の課題に剽窃(無断使用や無断模倣)がある場合、それまでの状況にかかわらず「履修打ち切り」となる場合がある。</p> <p>成績評価:社会調査の知識 10%、実査の設計 20%、用紙作成 20%、実査実施 30%、プレゼン 20%</p>	

対面授業				04020
授業科目名:経営統計学 I			担当教員氏名:西 敏明	
Business Statistics 1				
履修年次 2~4	2単位	前期	1コマ	
<p>【授業の目的】 受講生が、受講後につきのようことができるようになることが到達目標である。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 経営の分野・立場から得られたデータを統計解析できるようになること。 2. 昨今のコンピュータの高性能・普及により、顧客管理、購買状況等の大量な業務データを容易に解析でき、それぞれのお客様に対応する時代になって来ている。そのため、多くのデータの視覚化・要約・集約ができるようになること。 3. さらにその周辺として、経済を含めた状況についても統計データから把握できるようになること。 4. 実際的な見方・考え方や使い方について適用例を中心として理解が出来るようになること。 				
<p>【授業内容】</p> <p>1.経営学と統計学 教科書:p1-4 事前学修:「経営と統計とは何か」について事前に調べておき、概要を理解すること。 事後学修:経営統計の概要を復習しておくこと。わからない点が出てきたら、次回、質問をすること。</p> <p>2.統計的なものの見方・考え方 教科書:p4,5 事前学修:統計的なものの見方・考え方について事前に調べておき、概要を理解すること。 事後学修:統計的視点の概要を復習しておくこと。わからない点が出てきたら、次回、質問をすること。</p> <p>3.データのまとめ方 (1)ー母集団とデータ, そしてグラフ 教科書:第1章 事前学修:母集団とサンプルについて事前に調べておき、概要を理解すること。 事後学修:統計における母集団とデータの概要を復習しておくこと。わからない点が出てきたら、次回、質問をすること。</p> <p>4.データのまとめ方 (2)ー母数と統計量, そしてグラフ 教科書:第2章 事前学修:母数と統計量について事前に調べておき、概要を理解すること。 事後学修:母数の概要を復習しておくこと。わからない点が出てきたら、次回、質問をすること。</p> <p>5.データのまとめ方 (3)ーヒストグラム・はらつき 教科書:p24,25 事前学修:ヒストグラムについて事前に調べておき、概要を理解すること。 事後学修:はらつきの考え方を復習しておくこと。わからない点が出てきたら、次回、質問をすること。</p> <p>6.官庁統計データから見える経済動向とビジネス(統計調査報告を読み解く) 教科書:第2章 事前学修:官庁統計について事前に調べておき、概要を理解すること。 事後学修:官庁統計とデータの見える化の概要を復習しておくこと。わからない点が出てきたら、次回、質問をすること。</p> <p>7.ビジネスデータの解析(1)・・・因果関係と相関関係, 相関係数・2変量グラフの見方</p>				

教科書:p13-16

事前学修:因果モデルについて事前に調べておき、概要を理解すること。

事後学修: 関連の概要を復習しておくこと。わからない点が出てきたら、次回、質問をすること。

8.期待値と各種保険の考え方

教科書:第3章

事前学修:期待値について事前に調べておき、概要を理解すること。

事後学修:期待値と分散の概要を復習しておくこと。わからない点が出てきたら、次回、質問をすること。

9.言語データと数値データの区別とまとめ方

教科書 p53,54

事前学修:言語データについて事前に調べておき、概要を理解すること。

事後学修:新QC七つ道具の概要を復習しておくこと。わからない点が出てきたら、次回、質問をすること。

10.データと確率分布 (1) 正規分布と計量値データ

教科書:第4,5章

事前学修:分布について事前に調べておき、概要を理解すること。

事後学修:計量値データの概要を復習しておくこと。わからない点が出てきたら、次回、質問をすること。

11.データと確率分布 (2) 計数値データとクロス集計

教科書:第4章

事前学修:計数値データについて事前に調べておき、概要を理解すること。

事後学修:クロス集計の考え方を復習しておくこと。わからない点が出てきたら、次回、質問をすること。

12.検定と推定の考え方 (1) 仮説と検証の考え方, 第1種の過誤, 第2種の過誤とその判断

教科書:第4章

事前学修:仮説検定について事前に調べておき、概要を理解すること。

事後学修: α 、 β の概要を復習しておくこと。わからない点が出てきたら、次回、質問をすること。

13.検定と推定の考え方 (2) 推定について

教科書:第4章

事前学修:推測と確率について事前に調べておき、概要を理解すること。

事後学修:推定の概要を復習しておくこと。わからない点が出てきたら、次回、質問をすること。

14.計量値に関する検定・推定(1)－1つの母集団

教科書:第5章

事前学修:計量値の検定・推定について事前に調べておき、概要を理解すること。

事後学修:1つの母集団と2つの母集団の概要を復習しておくこと。わからない点が出てきたら、次回、質問をすること。

15.ビジネスデータの解析(2)・・・総合演習

教科書:第1章－第5章

事前学修:シラバス項目1-14を復習し、概要を理解すること。

事後学修:データ解析(検定推定のあり方と適用)の概要を復習しておくこと。

なお、本講義は、人数が多い場合は、第1回目の講義の際、抽選を行い決定する。履修を希望する者は、履修登録後、第1回目の講義に必ず出席すること。

<p><授業1回当たりの予習・復習の時間> 予習の時間:1.5 時間、復習の時間:2.5 時間 <予習の目標値(内容)> 「授業前には、該当のテキストの講義箇所を読み、わからないところを明確にし、その箇所については事前学習して、予習をすること。」 <復習の目標値(内容)> 「毎授業後には「講義要約レポート」を提出すること。その後、講義中、理解できなかったところを復習して、理解しておくこと。」</p>
<p>【テキスト】西 敏明:ビジネスのための経営統計学入門:日科技連出版</p>
<p>【参考図書】適宜指示する</p>
<p>【成績評価の方法】 出席:セキュリティシートで出席をとるのでスマートフォンを必ず毎回持参のこと。 成績評価方法:レポート1、レポート2および受講態度で評価を行う。講義中、到達 目標にどの程度達したかのレポート1(時間内演習課題)(40%)、指定の用紙で提出するレポート2(2回を予定)(40%)と、受講態度(20%)の評価により総合評価を行う。 受講態度は、すでに講義で話 した内容を聞いてない、指示しているとおりに行っていない、講義を受ける準備が出来ていない(事前学修,事後学修)等についての採点し、評価する。 なお、履修者がレポート1の提出後、次回の授業で課題の中での特徴的な見解や誤解などについてコメントする。レポート2についても次回の授業で課題の中での特徴的な見解や誤解などについてコメントする。また疑問点については、適宜回答する。</p>

対面授業				04021	
授業科目名: 応用情報処理 I			担当教員氏名: 西 敏明		
Applied Information Processing 1					
履修年次 1~4	2単位	前期	1コマ		
<p>【授業の目的】 講義では、Excel で用いられる基本的手法と、統計的方法の基礎とその適用について学んでいく。 受講生が、受講後につぎのようなことができるようになることが到達目標である。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 私たちの身近にあるデータを整理し、グラフ表現ができる。 2. データから得られる情報を観る考え方ができ、適用する手法を適切に選ぶことができる。 3. 統計解析の基本ができる。 4. 統計解析の概念を把握するとともにデータ分析(適切な統計処理)をおこない、要約化することができる。 5. 上記各項目について、実践的な力をつけることをねらいとする。 					
<p>【授業内容】 各授業計画では該当するプリントを配布するが、下記に参考として、参考書の該当関連箇所を明記する。</p> <p><基礎的統計学の知識の構築></p> <p>1.Excel 操作(統計関数の概要)とデータ処理概論 参考書: 二見・西 付録 事前学修: 統計関数を事前に調べておき、概要を理解しておくこと。 事後学修: 統計関数と Excel の基本操作を復習しておくこと。わからない点が出てきたら、次回、質問をすること。</p> <p>2.確率論の基本と基本統計量 参考書: 二見・西 第1章 1.1-1.3 事前学修: 確率と基本統計量について事前に調べておき、概要を理解すること。 事後学修: 講義内容(確率と基本統計量)を復習しておくこと。わからない点が出てきたら、次回、質問をすること。</p> <p>3.確率分布とその性質, ヒストグラム 参考書: 二見・西 第1章 1.4-1.5 事前学修: 確率分布とヒストグラムについて事前に調べておき、概要を理解すること。 事後学修: 講義内容(確率分布とヒストグラム)を復習しておくこと。わからない点が出てきたら、次回、質問をすること。</p> <p>4.検定と推定(1) 第1種の誤りと第2種の誤り 参考書: 二見・西 第2章 事前学修: 検定の際の「2つの誤り」について事前に調べておき、概要を理解すること。 事後学修: 講義内容(2つの誤りとその確率の考え方)を復習しておくこと。わからない点が出てきたら、次回、質問をすること。</p> <p>5.検定と推定(2) 平均値問題・・・σ未知と既知の場合について 参考書: 二見・西 第3章 3.1-3.3 事前学修: 平均値の検定手・推定について事前に調べておき、概要を理解すること。 事後学修: 講義内容(平均値の検定・推定)を復習しておくこと。わからない点が出てきたら、次回、質問をすること。</p> <p><抽出法の理論と分割表の検定・独立性の検定></p> <p>6.抽出の考え方とその利用</p>					

(条件付き合計式と Lookup)

参考書:二見・西 第4章

事前学修:excelの条件付き合計式と関連の関数について事前に調べておき、概要を理解すること。

事後学修:講義内容(条件付き合計式と関連の関数)を復習しておくこと。わからない点が出てきたら、次回、質問をすること。

7.ワークシート分析, 循環参照の解消・ユーザー独自関数の作成

参考書:二見・西 第4章

事前学修:ユーザー独自関数について事前に調べておき、概要を理解すること。

事後学修:講義内容(ユーザー独自関数)を復習しておくこと。わからない点が出てきたら、次回、質問をすること。

8.抽出法理論の考え方とデータベース機能の活用

参考書:二見・西 第4章

事前学修:excelのデータベースについて事前に調べておき、概要を理解すること。

事後学修:講義内容(データベース)を復習しておくこと。わからない点が出てきたら、次回、質問をすること。

9.ピボットグラフの作成・編集とクロス集計

(クロス表の統計量, 独立性の検定, 分割表の検定)

参考書:二見・西 第4章 4.6, 4.7

事前学修:集計表について事前に調べておき、概要を理解すること。

事後学修:講義内容(集計表と検定の関係)を復習しておくこと。わからない点が出てきたら、次回、質問をすること。

10.複数のワークシートからのピボットテーブルの作成

(複数アンケート項目の抽出・調査の観点から)

参考書:二見・西 第4章 4.7

事前学修:ピボットテーブルについて事前に調べておき、概要を理解すること。

事後学修:講義内容(ピボットテーブル)を復習しておくこと。わからない点が出てきたら、次回、質問をすること。

<検定・推定理論の応用のための各種関数利用と分析ツールの活用>

11.基本的な統計関数(各種分布を含む)の紹介と活用

参考書:二見・西 第1章

事前学修:分布関数と統計関数について事前に調べておき、概要を理解すること。

事後学修:講義内容(分布関数)を復習しておくこと。わからない点が出てきたら、次回、質問をすること。

12.分析ツールと散布図・相関係数

参考書:二見・西 第1章

事前学修:分析ツールについて事前に調べておき、概要を理解すること。

事後学修:講義内容(散布図と相関係数)を復習しておくこと。わからない点が出てきたら、次回、質問をすること。

13.分析ツールと検定・推定(平均・比率の差の検定)

参考書:二見・西 第3章

事前学修:比率の検定と推定について事前に調べておき、概要を理解すること。

事後学修:講義内容(比率の検定と推定)を復習しておくこと。わからない点が出てきたら、次回、質問をすること。

14.分析ツールと単回帰分析の基本

参考書:二見・西 第3章

事前学修:単回帰分析について事前に調べておき、概要を理解すること。

事後学修:講義内容(単回帰分析)を復習しておくこと。わからない点が出てきたら、次回、質問をすること。

15.データ,関数処理の結果およびグラフ化による表現の総合演習

参考書:二見・西 全ての範囲(第1章-付録)

事前学修:関数について事前に調べておき、概要を理解すること。

事後学修:グラフ化による見える化を復習しておくこと。

なお、本講義は、パソコン室での台数に制限があるため、人数が多い場合は、第1回目の講義の際、抽選を行い決定する。履修を希望する者は、履修登録後、第1回目の講義に必ず出席すること。

授業1回当たりの予習・復習の時間>

予習の時間:1.5時間,復習の時間:2.5時間

<予習の目標値(内容)>

「授業前には、該当の事前配布プリントで、講義演習箇所を読み、わからないところを明確にし、その箇所については事前学習し、予習すること。」

<復習の目標値(内容)>

「毎授業後には、「演習:電子提出ファイル」(レポート1)を提出すること。その後、講義中、理解できなかったところを必ず復習して、理解しておくこと。」

【テキスト】プリントを配付する。

【参考図書】継続的改善のための Excel 統計解析講座 2 必須 統計解析の基礎:二見良治,西敏明:日科技連出版

【成績評価の方法】

出席:セキュリティシートで出席をとるのでスマートフォンを必ず毎回持参のこと。

成績評価方法:レポート1、レポート2および受講態度で評価を行う。講義中、到達目標にどの程度達したかのレポート1(時間内演習課題,逐次3点×13回程度)(40%)、指定の用紙で提出するレポート2(2回を予定)(40%,20点×2回)と、受講態度(20%,資料等の持参なしや居眠り、指定した以外でのスマホの使用は減点)の評価により総合評価を行う。履修したら、必ず60点以上を目指すこと。

受講態度は、すでに講義で話した内容を聞いてない、指示しているとおりに行っていない、講義を受ける準備が出来ていない(事前学修,事後学修)等についての採点し、評価する。

なお、履修者が「演習:電子提出ファイル」(レポート1)の提出後、次回の授業で課題の中での特徴的な見解や誤解などについてコメントする。レポート2についても次回の授業で課題の中での特徴的な見解や誤解などについてコメントする。また疑問点については、適宜回答する。

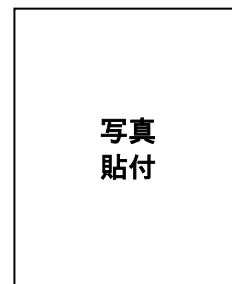
大学コンソーシアム岡山 単位互換履修科目履修願

所属大学の 受付番号	
受入大学の 受付番号	

* 学生は太枠内のみ記入

岡山商科大学長 殿

提出日	年	月	日
ふりがな			
氏名			印



この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

所属大学等							
学部・学科・学年	学部			学科		年	
学生番号		性別	生年 月日	西暦		年	
		男・女		昭和・平成	年	月	日
現住所	〒 ー						
	Tel () ー						

* 履修受付締切日：前期：4月7日(火)まで 後期：9月23日(水)まで

* 区分(教養/専門)：開講大学の区分を示しています。受講生の所属大学における区分については、申込みの際に所属大学で確認してください。

No	授業科目	区分	担当教員	単位	開講期	配当学年	備考	曜日・時限	履修希望	評価
双方向ライブ型遠隔科目										
04101	岡山経営者論Ⅰ 【旧：経営学特殊講義Ⅰ】	専門	陳 恵貞	2	前期	1～4		月 14:40～16:10		
04102	岡山経営者論Ⅱ 【旧：経営学特殊講義Ⅱ】	専門	陳 恵貞	2	後期	1～4		月 14:40～16:10		
対面授業科目										
04001	行政法Ⅰ	専門	伊藤 治彦	2	前期	2～4	定員 20名	木 13:00～14:30		
04002	行政法Ⅱ	専門	伊藤 治彦	2	後期	2～4	定員 20名	木 13:00～14:30		
04003	民法概説	専門	倉持 弘	2	前期	1～4	定員 20名	金 14:40～16:10		
04004	民法総則	専門	倉持 弘	2	後期	2～4	定員 20名	金 14:40～16:10		
04005	労働経済学Ⅰ	専門	有利 隆一	2	前期	2～4	定員 15名	火 14:40～16:10		
04006	労働経済学Ⅱ	専門	有利 隆一	2	後期	2～4	定員 15名	火 14:40～16:10		
04007	ミクロ経済学	専門	田中 康秀	2	前期	2～4	定員 15名	水 13:00～14:30		
04008	中級ミクロ経済学	専門	田中 康秀	2	後期	2～4	定員 15名	水 13:00～14:30		
04009	市場調査論	専門	佐井 至道	2	前期	3～4	定員 15名	金 10:40～12:10		

No	授業科目	区分	担当教員	単位	開講期	配当学年	備考	曜日・時限	履修希望	評価
対面授業科目										
04010	国際経済学Ⅰ	専門	山下 賢二	2	前期	2～4	定員 15 名	木 9:00～10:30		
04011	国際経済学Ⅱ	専門	山下 賢二	2	後期	2～4	定員 15 名	木 9:00～10:30		
04012	マクロ経済学	専門	山下 賢二	2	前期	2～4	定員 15 名	火 9:00～10:30		
04013	中級マクロ経済学	専門	山下 賢二	2	後期	2～4	定員 15 名	火 9:00～10:30		
04014	岡山経営者論Ⅰ 【旧:経営学特殊講義Ⅰ】	専門	陳 惠貞	2	前期	1～4	定員 15 名	月 14:40～16:10		
04015	岡山経営者論Ⅱ 【旧:経営学特殊講義Ⅱ】	専門	陳 惠貞	2	後期	1～4	定員 15 名	月 14:40～16:10		
04016	簿記論Ⅰ	専門	陶 静	2	前期	1～4	定員 15 名	火 14:40～16:10		
04017	簿記論Ⅱ	専門	陶 静	2	後期	1～4	定員 15 名	火 14:40～16:10		
04018	情報処理概論Ⅱ	専門	島田 伸夫	2	後期	1～4	定員 15 名	金 9:00～10:30		
04019	社会調査実践	専門	田中 潔	4	通年	3～4	定員 5 名	月 14:40～16:10		
04020	経営統計学Ⅰ	専門	西 敏明	2	前期	2～4	定員 15 名	火 13:00～14:30		
04021	応用情報処理Ⅰ	専門	西 敏明	2	前期	1～4	定員 15 名	月 9:00～10:30		

写真提出枚数 (カラー, 4 cm × 3 cm, 裏面に大学名・氏名を記入する)	身分証明書用	学生原簿用	計
	0 枚	0 枚	0 枚